



オーデイション

11月3日

Sudden Fiction Project

高階 經啓
hirotakashina

11月3日のおはなし「オーディション」

一緒に暮らし始めてびっくりしたのは、人ってこんなに見るテレビ番組が違うんだっていうことだった。わたしが『なんでも鑑定団』を熱心に見ているとバカにする。そのくせ『ピタゴラスイッチ』を録画していなかったと責められる。何だかなあと思うことも多いけれど、でもまあそういうのも不思議に満ちていて面白い。

世の中は不思議に満ちている、というのは彼のお得意のフレーズだ。大袈裟な。と思うけど、彼がそういうと本当に世界は不思議に満ちているって気がしてくるから不思議だ。最初は良く誤解されるのだけれど、それは皮肉を言っているわけではない。婉曲な批判でもない。ただ淡々と心から「不思議に満ちている」と言っているんだ。例えばこんな具合。

「結局それっきり二度と姿を現さないんだ。あれだけ印象的に登場させておいて、何の展開もナシ。何のフォローもナシ。オーディションまでやってあの子を選んでものにね」首を振りながら彼は言う。「世の中は不思議に満ちている」

友人が作った3年ぶりの新作は、こうして「駄作」ではなく「不思議に満ちた作品」になる。巷の評判はあまりかんばしくなくても、そんなこととは関係なく、不思議を見に行きたければ見に行けばいいわけだ。彼の目を通して眺めると、世界はもっと可笑しくて、もっと愉快で、楽しいこといっぱいになる。

「ふーん、オーディションかー」それで、話のついでという感じで言う。「じゃあさ、あなたはわたしのどこが好き？ どうしてわたしを選んだの？」

前から聞いたかったことを聞いてみる。顔でないことはわかっている。でも性格でもなさそうだし、声が好きななんてことではなさそうさ。

「爪、かな」おいおい。なんだよそれー。「うん、爪だ」

爪？ あー爪なんだ、そうなんだ。でもまあ嬉しいよ。何もないよりさ。

「爪の、何？ 色？ 形？」

「硬さかな」

硬さ？ わたしは爪の硬さで選ばれたの？ 世の中は不思議に満ちている。

(「爪」 ordered by kyouko-san/text by TAKASHINA, Tsunehiro a.k.a.hiro)

感謝の言葉と、お願い&お誘い

Sudden Fiction Project（以下SFP）作品を読んでいただきありがとうございます。お楽しみいただけましたでしょうか？ もしも気に入っていただけたらぜひ「コメントする」のボタンをクリックして、コメントをお寄せください。ブログへの登録（無料）が必要になりますが、この機会にぜひ。

「気に入ったけどコメントを書くのは面倒だ」と言うそのあなた。それでは、ぜひ「ツイートする（Twitter）」「いいね！（Facebook）」あたりをご利用ください。あるいは、mixi、はてな等の外部連携で「気に入ったよ！」とアピールしていただくと大変ありがたいです。盛り上がります。

※星5つで、お気に入り度を示すこともできますようですが、面と向かって星をつけるのはひょっとしたら難しいかも知れませんね。すごく気に入ったら星5つつける、くらいの感じでご利用いただければ幸いです。

現在、連日作品を発表中です。2011年7月1日から2012年6月30日までの366日（2012年はうるう年）に対して、毎日「1日1篇のSFP作品がある」という状態をめざし、全作品を無料で大公開しています。→[公開中の作品一覧](#)

SFP作品は、元作品のクレジットをきちんと表記していただければ、転載や朗読などの上演、劇団の稽古場でのテキスト、舞台化や映像化などにも自由にご活用いただけます。詳しくは「[Sudden Fiction Project Guide](#)」というガイドブックにまとめておきました。使用時には、コメント欄で結構ですので一声おかけくださいね。

ちょっと楽屋話をすると、7月1日にこのプロジェクトを開始して以来、日を追うごとにつくづく思い知らされているのですが、これ、かなり大変なんです（笑）。毎日1篇、作品に手を入れてアップして、告知して、[Facebookページ](#)などに整理して……って、始める前に予想していたよりも遥かに手間がかかるんですね。みなさんからのコメント、ツイート（RT）、「いいね！」を励みにがんばっていますので、ぜひご協力お願いいたします。

読んでくださる方が増えるというのもとても嬉しい元気の素なので、気に入った作品を人に紹介して広めていただけるのも大歓迎です。上記Facebookページも、徐々に充実させてまいりますので、興味のある方はリンク先を訪れて、ページそのものに対して「いいね！」ボタンを押してご参加ください。

10月からは「1日1篇新作発表」の荒行（笑）を開始し、55作品ばかり書き上げる予定です。「[急募！お題 この秋Sudden Fiction Project開催します](#)」のコメント欄を使って、読者のみなさんからのお題を募集中です。自分の出したお題でおはなしがひとつ生まれるのって、ぼくも体験済みですが、かなり楽しいですよ！ はじめての方も、どうぞ気軽に遠慮なくご注文ください（お題は頂戴しても、お代は頂戴しないシステムでやっています。ご安心を）。

こんな調子で、2012年6月30日まで怒濤で突き進みます。他にはあんまりない、オンラインならではの風変わりな私設イベントです。ぜひ一緒に盛り上がってまいりましょう。

オーデション

<http://p.booklog.jp/book/37488>

著者 : hirotakashina

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/hirotakashina/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/37488>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/37488>

公開中のSudden Fiction Project作品一覧

<http://p.booklog.jp/users/hirotakashina>

電子書籍プラットフォーム : ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.